



# 2021-2022 年度 藤沢ロータリークラブ週報

2021-2022 年度 RI テーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第 2780 地区 ガバナー 田島 透  
第 3 グループガバナー補佐 椋梨 兼彰



- 創 立 / 昭和 29 年 6 月 3 日
- 第 68 代 会長 / 吉川 栄紀 幹事 / 廣島 純
- 事務所 / 藤沢市藤沢 93 新堀ライブ館 204 TEL : 0466-25-4000 FAX : 0466-26-9292 E-mail : info@fujisawa-rotary.com
- 例会日 / 毎週水曜日 12:30~13:30
- 例会場 / 湘南クリスタルホテル TEL : 0466-28-2111

NO. 10 第 3242 例会 2021 年 12 月 1 日 天候 晴れ

国家「君が代」  
ロータリーソング「我らの生業」  
「四つのテスト」 小澤 智幸 会員

## 《ゲスト・ビジターの紹介》

卓話ゲスト：滝沢 英昭 様  
(メルシャン(株)藤沢工場製造課課長/  
藤沢マイスター )  
角谷 裕子 様  
(メルシャン(株)藤沢工場/総務部総務課 )  
ビジター：市川 洋 様  
(2020 年度第 3G ガバナー補佐/  
2021 年度地区大会実行委員長/ふじさわ湘南 RC)

## 《ZOOM 出席者》

勝又 茂成 会員  
毛利 英昭 会員

## 《会長報告》

・滝沢さま、角谷さまようこそお越しください  
ました。卓話楽しみにしております。

出席報告 ( )内は計算に用いた会員数  
+[ ]は Zoom 出席者

市川様、ようこそお越しくださいました。  
・田島ガバナーより公式訪問のお礼状をいただきました。読ませていただきます。  
・11 月に後援、協賛しました藤沢珠算競技会  
そろばんコンクールの無事終了のお知らせと  
お礼状を藤沢商工会議所、藤沢珠算振興会より  
いただきました。  
・いよいよ 12 月、今年も残すところ 1 か月となり  
ました。私共のお店にシクラメンが入荷し始め  
ました。よい鉢をそろえておりますので、ご用  
命お申し付けください。

## 《幹事報告》

・例会後、次年度理事役員選考委員会を開催いた  
します。選考委員と現理事役員はご出席お願い  
します。その後、12 月の理事役員会を開催致し  
ます。現理事役員は引き続きご出席お願いしま  
す。

例会月日	会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率	メイクアップ 会員数	修正出席者数	修正出席率
11月10日	43(42)名	25名	17名	59. 17%	4名	29名	69. 05%
12月1日	43(42)名	28+[2]名	12名	71. 43%			

## 《ガバナー補佐報告》

会長幹事会でロータリー奉仕デーの準備を進めております。カンボジアへ送るサッカーシューズ、石鹸、タオル等の募集依頼を会長幹事で手分けし市内中学校へのご挨拶をお願いしております。よろしく願い致します。

## 《お祝い》

結婚記念日 11月22日 藤田 浩二 会員



藤田会員、「いい夫婦の日」が記念日です！

## 《スマイル報告》

市川 洋 様 (ふじさわ湘南 RC)

昨年は大変 御世話になりました。

今年は地区大会委員長として、又皆様に御願いに参りました。

宜しく御願ひ致します。

吉川 栄紀 会長

本日は滝沢様、角谷さま、卓話よろしく御願ひいたします。

ふじさわ湘南の市川さま、ようこそいらっしゃいました。

椋梨 兼彰 会員

市川 PAG ようこそ!!

先日、お誕生日祝い、結婚記念日のダブルのお祝いありがとうございました。

妻と2人でディズニーランド、28000歩、21km歩きました。

藤田 浩二 会員

結婚記念祝い、ありがとうございます。

星谷 けい子 会員

角谷さん、女性会でお邪魔してお世話になりました。とてもためになり、お土産まで恐縮でした。

廣島 純 会員

滝沢様、角谷様、本日はよろしく御願ひいたします。

岡崎 記久子 会員

市川さん、ようこそいらっしゃいました。

## 《小話 3分間スピーチ》

鈴木 隆一 会員



皆様、事業所の長というお立場で、従業員のご指導に悩まなかったことはないと思います。時に叱ることも必要かと思いますが、上から押し付けるやり方は、今の時代厳しいものです。本人の自主性を重んじ、褒めて自信をつけさせることが今の風潮になってきております。そうはいつでも、それではつげあがるという場合があります。その辺りは問題です。褒めることは、難しいと考える方もいるのではないのでしょうか。私自身も出来て当たり前、出来なければ叱咤激励されるばかりで、褒められた記憶はどこまで遡ればよいかわかりません。日本人は褒められることが苦手な人種だそうです。家庭や学校での教育が、決まった答えを押し付けるばかりで、自由な発想を疎外することが原因だと言われます。欧米では幼少期から課題を与え、自由に考えさせる教育を積極的に行い、自発的な想像が生まれ、ポジティブな気持ちを持ち、他人を褒めることを違和感なくできるようにすると聞きました。また、他人を褒める前に自分自身を褒めることが必要でもあるそうです。ナルシストになるのではなく、自己肯定感を持

つことで人間としての器が安定し、知恵と経験を積み、大きく広げていく事が大事なのだそうです。私の経験談をお話します。20年程前、六角橋支店に異動になりました。当時の支店長に言われました。「おまえの好きなようにやりなさい。やりたいようにやりなさい。何かあったら、全て自分が責任を持つから」いきなりそう言われて戸惑いましたが、当時の支店の成績は常に最下位でした。これ以上何をしても下がりようがなかったからでしょうか。しかし、今思えば、部下の自主性を尊重して信じることであったのでしょうか。私は、まだ部下に対して、「好きなようにやれ」という気持ちにはなれません。まだまだ人間としての器が育っていません。今後とも精進していきたいと思えます。ご清聴ありがとうございました。

## 《卓話》

### 「ワインの歴史」

メルシャン株式会社 藤沢工場

製造課課長 藤沢マイスター

滝沢 英昭 様

総務部総務課

角谷 裕子 様



石川様より、昨年度のお礼と今年度の地区大会について、ご挨拶いただきました。



藤沢マイスターの滝沢様



エントランスも  
クリスマス仕様



ワインの歴史と一口にいっても実は大変に古く、とても深い内容であるため、①「ワインのはじまり」、②「フランスにはどのようにして伝わったのか?」、③「日本ワインの歴史」の三点について時代ごとにお話をさせていただきます。

### ① 「ワインのはじまり」

ワインのはじまりは、紀元前 8000 年頃、日本の歴史では縄文時代となるが、コーカサス山脈（現在のジョージア）でワインが造られ既に飲まれていたという史実がある。

文献上でのワイン醸造の登場は、紀元前 5000 年頃、メソポタミア文明最古の文学作品である『ギルガメッシュ叙事詩』には、「洪水対策の一環である船の建造に携わった労働者にワインが振舞われた…」という記述が残されている。

また同時期のものと思われる遺跡からぶどう果汁を搾るための道具と思われる石臼なども発見されていることから、紀元前 5000 年頃にはワイン醸造は始まっていたと考えられている。

更にメソポタミアに近いエジプトでも、ワインを造るための道具や、貯蔵するための容器が壁画に描かれていたことから、紀元前 4000 年代にもワインが継続して造られていたことがうかがえる。

このようにメソポタミアやエジプトで造られていたワインも、紀元前 1500 年頃にはギリシャに伝わっていく。

ギリシャ神話には、ワインをギリシャにもたらしたのは、酒神ディオニソス（バックス）であるといわれていますが、実際には現在のレバノン周辺で海上交易をしていたフェニキア人によってギリシャに伝えられた。

フェニキア人から伝えられたワインは、ギリシャ人によって盛んに造られるようになり、紀元前 1100 年頃には、ギリシャは有数のワイン輸出国となっていく。

古代ギリシャにおけるワインの役割は、飲用だけでなく薬としても利用されていた。

古代ギリシャの医師であるヒポクラテスは、ワインの効能として「解熱作用」「利尿作用」「疲労回復」の効果があると書き残している。

世界で二番目に古い『ハンムラビ法典』には、現代にも通じる戒めのような記述が残されている。

その内容は、「酒癖の悪いものにはワインを販売して

はいけない」と定められており、ワインの歴史は人類の歴史とも深いつながりがあることがさまざまな史実から読み取ることができる。

### ② 「フランスにはどのようにして伝わったのか?」

このようにしてギリシャに伝わったワインも、紀元前 600 年頃になるとギリシャ人の一部がフランスのマルセイユ地方に移住し、ぶどう栽培、ワイン造りが始まる。

紀元前 600 年頃にマルセイユに伝わったぶどう栽培、ワイン造りは、紀元後の 100 年頃にはフランスのローヌ地方に、200 年頃にはブルゴーニュ地方、ボルドー地方、300 年頃にはロワール地方、そして 400 年頃にはシャンパーニュ地方伝わっていく。

800 年頃フランク大国のシャルルマーニュは、キリスト教とともにぶどう栽培、ワイン生産を奨励し、教会や修道院を中心にワイン生産、技術も発展していく。

1000 年から 1100 年頃の中世のヨーロッパでは、キリスト教が中心となり、政治、人々の生活、そしてワインにもキリスト教が深く関係していくことになる。

ワインは、「キリストの血」と称され、神聖でとても貴重なものとされていた。

当時の教会や修道院は、現在の大学や研究所の役割も果たしており、ぶどう畑の開墾やワイン醸造の技術向上に注力をしていた。

このようにフランスを中心に発展したヨーロッパのワイン造りも 1600 年代にはコルク栓やガラス瓶も登場し、さまざまな地域で多種多様なワインが生産され、現在につながっていく。

### ③ 「日本ワインの歴史」

日本ワインの歴史について紐解くと、まずはワインといってもぶどうがなければ始まらない。日本のぶどうの発祥については、二つの伝説がある。

一点目は、718 年に修行僧の行基が柏尾山大善寺を開山し、その薬草園で甲州ぶどうが栽培されたのが一つ目の伝説（大善寺説）である。

二点目は、1186 年甲斐の国上岩崎の住人であった雨宮勘解由（かげゆ）が城の平で野生ぶどうを発見し植栽したというのが二つ目の伝説（雨宮勘解由説）である。

ちなみに一つ目の伝説である大善寺（国宝）は、ぶどう寺とも呼ばれており、御安置されている薬師

如来もぶどうの房を左手に抱えており、ぶどうと縁の深いことを象徴している。

文献上でのぶどうの登場は、奈良時代に編さんされた『古事記』『日本書紀』に蒲陶（えびかづら）の記述がある。

この蒲陶は、植物和名では「えびつる」と呼ばれるぶどう科の植物である。

奈良時代には、既にぶどうは認識されていたもののワイン造りには至らなかった。

その理由として日本には、清酒など米からお酒を造る文化が既に確立されていたからである。

ワインが日本の歴史に登場するのは、戦国時代まで時代を待つことになる。

1549年ポルトガルの宣教師であるフランシスコザビエルが鹿児島に入港の際、薩摩の大名である島津貴久にポルトガルの赤い酒を献上したのが始まりといわれる。

赤ワインは、ポルトガル語で「ヴィーニョ・ティント」であるが、当時日本ではこれを「珍陀酒（チンタシゅ）」と呼び、織田信長をはじめ戦国大名や京都の宮人、外国貿易を始めた豪商たちに珍重された。

時代は流れ、明治時代に入ると漸く日本でもワイン造りが始まる。

1874年（明治7年）には、書物や来日外国人から伝授された知識により、日本で初めて白ぶどう甲州種でワインの試醸が実施された。

1877年（明治10年）にワイン醸造習得のため、日本人として初めて土屋龍憲（りゅうけん）と高野正誠（まさなり）の二人がフランスに留学、帰国後土屋、高野に加えた宮崎光太郎は国産初のワイン会社である「大日本山梨葡萄酒会社」（メルシャンの源流）を設立しワイン造りに注力する。

1891年（明治24年）には、日本ワインの父ともいわれる越後高田の川上善兵衛が、岩の原葡萄園を開設、日本の風土に適したぶどうの品種改良に情熱を傾け、1927年（昭和2年）にはマスカット・ベリーAを交配し、日本のぶどう栽培とワイン造りに大きな貢献をした。

一方で本格的なワインは、当時の日本の食生活には受け入れられず、甘口で飲みやすい甘味ぶどう酒（甘味果実酒）の原料ワインとしてワイン造りが明治から昭和40年頃まで続くことになる。

その理由として日本人は、米穀中心の食生活であっ

たことから、ワインの酸味や渋味に馴れなかつたため、ワインに砂糖やはちみつを混和した甘味ぶどう酒が滋養強壮ならびに保健飲料として好まれた。

このように日本に親しまれた甘味ぶどう酒（甘味果実酒）だが、本格的なワイン（果実酒）に消費量として抜かれる時代が到来する。

1964年（昭和39年）には第1回目の東京オリンピックが、1970年（昭和45年）には大阪で万国博覧会が開催されると、日本の食卓も海外の食文化の影響を受けるようになり、日本の食文化が大きく変化することになる。

これによりワインは日本の食卓でも受け入れられるようになる。

それらの影響を背景に、メルシャンワインも1972年には第1次ワインブーム「本格テーブルワインの市場幕開け」を迎え、1978年には第2次ワインブーム「1,000円ワインブーム」、1981年には第3次ワインブーム「地ワインブーム」、1987年から第4次ワインブーム「ヌーヴォー・高級ワインブーム」、1994年には第5次ワインブーム「低価格ワインブーム」、1997年には第6次ワインブーム「赤ワイン健康ブーム」、2012年には第7次ワインブーム「低価格輸入ワイン市場拡大」と展開していく。

そして皆さま方のご支援をいただき、2020年には、工場創業100周年となり、現在では日本一のワインを生産する工場になりました。

本当にありがとうございました、これからも藤沢市そして地域の発展のために貢献してまいります。

ここで、弊社のトピックスを3つほどご紹介させていただきます。

① 「ワールド ベスト ヴィンヤード2021」で、弊社のシャトー・メルシャン椀子ワイナリーが日本のワイナリーで唯一となる世界33位に選出されました。

世界的なワインと旅行に関する約600名の専門家が、ワイナリーでのツアーの内容、テイस्टィング、雰囲気、ワインの品質、食事、スタッフ、景観、コストパフォーマンスなど多岐にわたる基準を評価され、2021年は2000以上の世界のワイナリーがノミネートされる中、シャトー・メルシャン椀子ワイナリーが2年連続（2020年は30位）のランクインとなりました。

② 「CRAFT GIN 和柑橘」をメルシャン八代工場で生産開始。

熊本特産の晩白柚・青柚子・不知火を丁寧に蒸留した和柑橘の爽快な香りと、深い余韻が特徴。

③ 「Bon Rouge (ボンルージュ) 6%」を9月にメルシャン藤沢工場で生産開始。果実味とポリフェノールがリッチでまるやかなやさしい味わい。アーモンドチョコレートとは絶妙なマリージュ、ぜひ女子会にはおすすめです。

ワインを通じて元気を発信してまいりますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



吉川会長より謝辞



角谷様より、オンラインイベントについてご案内いただきました。

KIRIN

知って、美味しい！  
「キリングroup 4工場オンライン開放祭」

**キリングroup  
4工場オンライン  
開放祭** 神奈川 & 静岡  
12月4日(土)開催。  
抽選で1000名様に  
オンラインイベント参加権が  
当たる！  
工場見学と  
共通コンテンツを体験

応募締切：2021年11月17日(水)0:00

**【タイムスケジュール】**

- 14:45 CSV・適正飲酒動画
- 15:00 オープニング
- 15:05 キリンパレージ湘南工場
- 15:20 キリンビール横浜工場
- 15:35 メルシャン藤沢工場
- 15:50 キリンディステリアー  
富士御殿場蒸留所
- 16:05 4工場共通コンテンツ  
1. グラスによる味の違いの違い  
2. アレンジドリンク  
3. チョコレートドリンクの  
マリージュ
- 16:30 クロージング (予定)

**【参加工場】**

- ・キリンパレージ株式会社湘南工場
- ・キリンビール株式会社横浜工場
- ・メルシャン株式会社藤沢工場
- ・キリンディステリアー株式会社富士御殿場蒸留所

1. 日 時 2021年12月4日(土) 15:00～16:30
2. 配信方法 ZOOM ウェビナー
3. 参加方法 以下のURLまたは右の二次元バーコードからアクセスしてください。  
参加URL <https://kirin-co-jp.zoom.us/j/9876543210>  
事前にウェビナー登録が必要になります。  
事前登録は、【12月3日(金)】までに完了してください。  
※初めて利用する場合、ZOOMアプリのインストールが必要となります。  
詳細は、以下のキャンペーンサイトからご覧いただけます。  
キャンペーンURL <https://www.kirin.co.jp/campaign/alc/me20211101/index.html>
4. 参加資格 20歳以上の方
5. 参加申込締切 【2021年11月17日(水)0:00】までお願いします。

ストップ！20歳未満飲酒・飲酒運転。  
お酒は楽しく適量で。妊娠中・授乳期の飲酒はやめましょう。のんだあとはいち早くリサイクル。

本日のお料理

